

平成21年 第十管区10大ニュース!

JCG 1位 今世紀最大の皆既日食における安全対策等を実施(7月) 381票



7月22日の鹿児島県トカラ群島周辺は、世界的にも長時間の皆既日食観測が可能であることから多数の観測者が訪れることが予想されたため、十管本部では「皆既日食海上警備・安全対策本部」を設置し、観測船との連絡設定、安全情報の提供、グリッドマップの作成、ホームページの開設等を実施した結果、大きな事故等なく無事終了した。

JCG 2位 大隅群島及びトカラ群島西方沖流木対応(9月) 353票



9月3日巡視船おおすみ搭載機にて大隅群島及びトカラ群島西方をしょう戒中、分散した多数の流木を発見した。同海域では過去に超高速船が流木と衝突し乗員乗客112名が負傷する事故が発生していることから、当管区では直ちに「南九州沿岸域流木対策本部」、鹿児島保安部に「現地対策本部」を設置し、関係機関と連携協力し、約40日間にわたり超高速船の航路筋及び周辺海域において、流木調査及び揚収を実施した。

JCG 3位 カヌーの体験学習中に沖へ漂流した4人を無事救助(5月) 285票



5月27日、国立大隅青少年自然の家が実施したカヌーの体験学習中、引率教諭を含む小中学生96人が折からの強風に煽られ4人(教諭1人を含む)カヌー2艇が沖へ漂流した。

4人は捜索中の巡視艇しらかぜにより無事救助された。
この救助の様子がメディアでも大きく取り上げられた。

JCG 4位 「はやと」がテロ対策関連として東南アジアへ派遣(11月) 257票



「巡視船はやと」は、アジア各国との海賊及びテロ対策に関する相互協力推進の一環として、平成21年11月20日から12月12日の間、インドネシア共和国に派遣された。派遣期間中、往路、復路の公海上では巡視警戒、情報収集活動等を実施するとともに、インドネシア共和国においては、同国海上保安機関との連携訓練、同保安機関を対象にした乗船研修、海賊情勢・対策に関する意見交換等を実施した。

JCG 5位 潜水艦おやしおが監視警戒船と衝突(1月) 251票



1月10日午後8時頃、鹿児島県霧島市福山沖において性能試験を実施していた海上自衛隊第2潜水隊群所属の潜水艦「おやしお」(乗組員85人、排水トン数2700トン)が監視警戒中の漁船第28亀丸(乗船者1人、総トン数4.5トン)と衝突、負傷者はなく、油の流出もなかった。

JCG 6位 鹿児島海上保安部船艇倉庫完成及び新造巡視艇5隻就役(4月) 221票



鹿児島市谷山地区において、鹿児島海上保安部の船艇倉庫が平成20年10月15日に着工し、本年3月30日に完成した。同倉庫は大規模海難並びに大規模災害等に備えた、防災基地の機能を持ち、1階が鹿児島海上保安部所属の大型巡視船5隻の船艇用倉庫、2階が武道場兼会議室として使用可能である。

新造巡視艇「しろかぜ」が鹿児島海上保安部

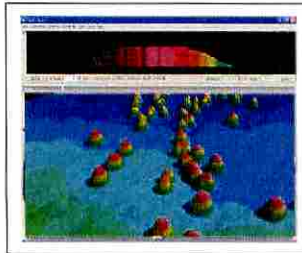
新造巡視艇「るりかぜ」が串木野海上保安部

新造巡視艇「さくらかぜ」が喜入海上保安署

新造巡視艇「ほこかぜ」が細島海上保安署

新造巡視艇「うけゆり」が古仁屋海上保安署にそれぞれ配属された。

JCG 7位 八代海海底で謎の海丘群を発見(6月) 163票



本部所属測量船「いそしお」が海底地形調査により、熊本県水俣市から西南西約10キロメートルの八代海において、謎の海丘群を発見、本年2月、鹿児島海上保安部所属巡視船「さつま」と潜水士により潜水調査を行ったところ、水深約30メートルの平坦な海底に直径約50メートル、比高約5メートルのほぼ円形の海丘約80個が密集する極めて珍しい海底の地形を確認した。

この発見は、各報道機関からも大きく取り上げられた。

JCG 8位 A I Sを活用した航行援助業務の運用開始式(7月) 156票



7月1日、南九州周辺海域での船舶の安全を確保するためA I S (船舶自動識別装置) を活用した航行支援システムの運用が開始された。

これにより、2004年に東京湾で運用開始されて以来、今回で小笠原諸島を除く日本沿岸全海域がカバーされた。

JCG 9位 十管区初! 立入検査等総合競技会を開催(2月) 153票



2月18日、十管区本部武道場において、管下の陸上及び船艇の若手職員による立入検査並びに初動捜査能力の向上を図り、海上における警察機関として必要な法執行能力の維持・向上に資することを目的として、管内各海上保安部から選抜された海上保安官が、取締りの際に必要とされる基本的な法律や関係訓令等の知識に関する筆記試験と違反事項を想定しての立入検査競技会が開催された。

競技会は報道関係者も取材に訪れ、各社ニュース番組で放送された。

JCG 10位 十管区初! 主計科調理競技会を実施(11月) 152票



11月18日、主計科職員の調理技術向上、相互研鑽、創意工夫の促進を目的として、当管区では初の試みとなる調理競技会を開催した。

同競技会は鹿児島保安部所属巡視船5隻を対象としており、初回はおおすみ、さつまの2隻が参加し、審査委員長(本部長)以下8名が料理、衛生面など所定の審査項目をチェックしたのち実際に食事した。

競技会は報道関係者も取材に訪れ、各社ニュース番組で放送された。